

IKITOMO

自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「イキトモ」

今すぐできる
生物多様性のためのアクション

MY行動宣言



〈特別編〉

SPECIAL
ISSUE

暮らしとつながるウェブサイト

生物多様性.com

探してみよう!

生物多様性のためにできること

生物多様性のためにできること

「MY 行動宣言」 5つのアクション

to Eat

たべよう 地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。

「鹿肉」



森林では増えすぎたニホンジカやエゾジカの悪影響がはじめています。長野県や北海道では大手スーパーとの連携での流通が可能になってきました。高タンパクでヘルシーな鹿肉を食べましょう。

「竹を食べて放置竹林をなくす」



里山環境荒廃の原因のひとつ、放置竹林をなくすために、皮に竹の微粉末、具材に筍をふんだんに使った「筍おやき」など、竹や筍を使った食品で「食べて」減らそうとする活動です。(NPO 法人加茂女)

to Tell

つたえよう

自然の素晴しさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

「おりがみアクション」

全国各地のイベントや施設のワークショップなどで、参加者にさまざまな生きものの折り紙を折ってもらうことで、生物多様性を守るためにできることを考えるきっかけをつくるプログラムです。(国際自然保護連合日本委員会)



生物多様性を守るために、私たちにできる5つのアクションを始めましょう。「生物多様性.com」では衣食住など暮らしの場面で検索ができます。

to Feel



ふれよう

自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

「ヤマネコ祭」

毎年10月に井の頭自然文化園で開催されるヤマネコに関するイベント。専門家の講演会や関連団体の活動紹介展などがあります。ヤマネコキーホルダー制作やヤマネコ絵画教室、ワークショップなども人気です。

to Choose

えらぼう

エコラベルがついた環境に優しい商品を選んで買います。

毎年、日本穀物検定協会の食味ランキングで特A評価を得る佐渡コシヒカリ。中でも農薬や化学肥料を削減し、水田とその周囲の生きもののための生息環境を作り出す、生きものを育む農法で育てられたお米です。(新潟県佐渡市)



「朱鷺と暮らす郷」米

使われずに荒廃した竹林を有効活用して竹紙を生産。竹の大量消費を目指して、工場のある鹿児島で、国産竹100%の紙からノートやハガキといった文房具、紙袋など、さまざまな商品に採用されています。(中越パルプ工業)

「竹紙ノート」



to Save

まもろう

生きものや自然、人や文化とのつながりを守るため、地域や全国の活動に参加します。

「アエノコト」



奥能登で行われてきた農耕儀礼で豊穡に感謝し、田んぼの神様を家に迎え入れてもてなし、1年の労をねぎらうというもの。ユネスコ無形文化遺産にも登録されており、昔からの伝統文化の伝承を進めています。(まるやま組・石川県能登市)

「自然観察のボランティア」



目の前の自然をじっくり観察すると、自然と人とのつながりや生きものどうしのつながりが見えてきます。自然観察会のボランティアリーダーになって、地域の自然の大切さを伝え守りましょう。(日本自然保護協会)



生物多様性とは

現在、地球上には3,000万種類もの生きものがいると言われています。日本だけでも、これらの生きものたちは森や川、草原、湿地、海などいろいろな場所で、お互いにバランスを保って生きています。たくさんの種類の生きものすべてが、複雑に関わりあって存在していることを生物多様性といいます。わたしたち人間もその生きもののひとつなのです。

私たちの生活に欠かせない食べ物やエネルギー、衣服の原料などは生物多様性がもたらす自然の恵みです。生物多様性に支えられて、人の暮らしや営みが成り立っているのです。

Think about Biodiversity.

暮らしとつながるウェブサイト

「生物多様性.com」で探してみよう!!



カテゴリから探せます。

食品からファッション、書籍、教育、金融にいたるまで、今すぐできる生物多様性に関する情報が、カテゴリ別に検索できます。

最新の情報が、アップされます。

生物多様性.comのトップ画面には最新情報が次々とアップされています。NEWという赤いマークがついているのが目印です。

イベントなどを地域別に検索。

もう一歩進んでみたくなった人はこちらで。楽しく学べるイベントやシンポジウム、セミナーなどが地域ごとに探せます。

「いいね!」でメンバーに。

Facebook「Iki・Tomoパートナーズ」でも生物多様性の情報が得られます。「いいね!」であなたも生物多様性を守る仲間になりますよ!

関連する活動はここでチェック!

生物多様性に関連する活動や取り組みはほかにもたくさんあります。さまざまな角度から、その重要性について考えてみましょう。

生物多様性について考えるきっかけを提供し、生物多様性のことを知ってもらうためのウェブサイトです。生物多様性の保全に関する情報や、持続可能な利用に向けたさまざまな商品・サービス・取り組みを紹介しています。どんな行動が生物多様性のためになるのか、そのヒントを得られます。

生物多様性のための20の約束。2020年までに世界が達成することを目標にしています。愛知県で開催された国際会議で採択されたものです。

AICHI TARGET 愛知ターゲット20の目標



【目標1】生物多様性は大切なんだと知ろう。その気持ちをもって行動しよう。



【目標11】陸地の17%、海の10%は、なにがあっても守る場所に決めよう。



【目標2】国や地方は、生物多様性に気を配った計画を立てよう。



【目標12】絶滅危惧種を絶滅から防ぎ、ふつうの種に戻していこう。



【目標3】生物多様性に悪い制度は、やめよう。やめさせよう。



【目標13】一つの種のなかでも、多様さを大事にしよう。



【目標4】環境に無理をさせず、続けられる生産と消費をしよう。



【目標14】生態系を守り自然の恵みが子供や貧しい人々にも届くようにしよう。



【目標5】生きものが暮らす場所が失われる速さを半分に抑え、ゼロを目指そう。



【目標15】傷ついた生態系を15%以上回復させ、気候変動等の問題に貢献しよう。



【目標6】水産資源は、これからも無理なく続けられるように漁獲しよう。



【目標16】生物多様性から得られる利益は、国や地域を超えて公正に分配しよう。



【目標7】農業等が行われる地域を、長く無理なく活動できるよう管理しよう。



【目標17】みんなで参加しながら作戦を立て、みんなで実現しよう。



【目標8】化学物質・肥料・農薬は生物多様性に有害でない範囲まで抑えよう。



【目標18】生きものや自然にまつわる伝統的な知識を大切にしよう。



【目標9】外来種が増えるのを防ごう。入ってこないようにしよう。



【目標19】生物多様性に役立つ知識や技術を豊かにしていこう。



【目標10】サンゴ礁など、特に弱い生態系を守ろう。



【目標20】活動を支えるために大切な資金、協力を集め増やしていこう。

まだまだ知ってほしい生物多様性

Report 1

生物多様性を守るために 環境省がやっていること

絶滅危惧種の保護や増殖

<http://www.env.go.jp/nature/kisho/index.html>

絶滅しそうな生きものを守り、数を増やすために計画を作ってえさ場やすみかとなる環境を整えています。動物園で数を増やしたりしています。



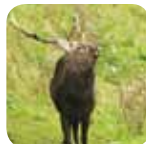
トキ。日本では一度絶滅しましたが、現在、新潟県佐渡市で野生復帰の取り組みを進めています。

自然環境の保全を行い、自然とのふれあいを進めるとともに、野生生物の保護および管理などを行っています。

増えすぎた動物への対策

<http://www.env.go.jp/nature/choju/index.html>

ニホンジカやイノシシの数が全国的に大変増えていきます。増えすぎた生きものを適正な数になるように捕獲するなどの対策をとっています。



ニホンジカの数が増え、木や草などの植物を食べつくすなど、生物多様性に悪い影響を与えています。

自然保護地域の指定

<http://www.env.go.jp/nature/>

原生的な自然や優れた自然環境など、生きものすみかとして大切な自然を、法律で自然保護地域として定めることで生物多様性を守っています。



世界自然遺産の知床国立公園。陸地にはヒグマ、海にはシャチがいて、川には海からサケが戻ってきます。

外来種の駆除

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

昔から日本にいる在来種を守るため、外来種を駆除しています。ほかの地域から持ち込まれた外来種は、生態系に影響をあたえることがあります。



北アメリカ原産のブラックバスは食欲旺盛で、水中に住む多くの在来種が犠牲になっています。

Report 2

本格的な情報収集に

「国連生物多様性の10年日本委員会」

<http://undb.jp/>

2011年から2020年までは国連が定めた「生物多様性の10年」です。2010年10月に名古屋で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」で採択され、2011年に「国連生物多様性の10年日本委員会」が設立されました。

生物多様性マガジン「Iki・TOMO」の最新号からバックナンバーまでここで読めます。

